



め

地域を守る熱き志！

多久市消防団



いざという時、災害現場に駆けつけ、地域の安心と安全を守る消防団。
普段どんな活動をしているのか、消防団のみなさんに話を伺いました。

地域を守る！



多久市消防団 団長
じんのうち しげかず
陣内 成和 さん

消防団は、火災の時は消防隊員と協力して消火活動をし、災害時には救助・救出、警戒巡視、避難誘導、このほか、行方不明者の捜索、火災予防など活動は多岐にわたります。

団員はそれぞれの職業に就いていますが、災害時には地域の安全と安心を守るために出動します。

「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神を根本に、地域住民によって結成された消防組織です。

現在、多久市消防団には5つの分団があり、男女合わせて368人の団員が所属しています。その消防団をまとめる陣内団長は「近所の先輩に誘われ入団し、地域のためにと活動をしてきました。危険を伴う現場に出るからこそ、訓練時は服装や規律を、きちっとし、メリハリのある行動を徹底しています。しかし、訓練が終われば団員同士とても仲が良いんですよ」と

地域・家族の理解と支えが

話します。

団員は、仕事が休みの日や仕事終わりに集まって訓練し、平常時でも月2回、車両やポンプなどの操作点検をしています。その際、地域を守るには知ること、という団長の指導の下、防火水槽・消火栓の設置場所や浸水しやすい場所などを団員同士で確認し、情報共有を心がけています。

「非常時は現場に駆けつけ、普段からも備えに励む団員を支えているのは家族の理解と協力のおかげです。40年以上活動を続けてきましたが、サイレンが鳴ると現場に駆け出す私を、妻はあたたかく送り出してくれました。また、地域のみなさんの協力にも本当に感謝しています」と微笑む団長。

さらに今回、消防団にドローン隊が結成されることになり、現場の状況確認や団員の安全確保、行方不明者の捜索など、活動の広がりが期待されます。

「献身的に取り組む団員の姿に、他の消防団から、多久の消防団は元気があって、ピリッとして良いですね」と言われることが増え、嬉しい限りです。これからも多久市の安心・安全な暮らしを守るため尽力していきます」と陣内団長は力強く語ります。